

第60回

# 高知市文化祭

## 報告書

〔平成20年度〕



第60回高知市文化祭開幕行事 武政英策生誕100年記念公演「歌ありてこそ」  
(平成20年4月13日/かるぽーと)

高知市文化祭執行委員会

# 目 次

高知市文化祭執行委員名簿	2
高知市文化祭主催行事	3
高知市文化祭参加行事数・入場者数	5
参加行事報告	
映像部門参加行事	6
演劇部門参加行事	7
音楽部門参加行事	9
舞踊部門参加行事	13
展示部門参加行事	15
文芸部門参加行事	16
その他の参加行事	17

## 第60回高知市文化祭執行委員会

区 分	氏 名	備 考	
顧 問	廣 松 ひとし	人形劇団ピコロ座代表	
芸 術 文 化 部 門	映 画	坂 本 昌 隆	映像芸術研究家
	音 楽	山 本 秀 峰	高知県三曲協会事務局長
		仮 谷 哲 郎	高知県合唱連盟事務局長
		高 橋 輝 雄	高知県民謡協会会長
		上 本 竹 永	高知県吟剣詩舞道総連盟副理事長
	舞 踊	花 柳 昌 延	高知県日本舞踊協会会長
		立 脇 千 賀 子	高知県バレエ協会会長
	演 劇	吉 本 智 賀 子	劇団ゆまにて代表
		北 村 絵 理	NPO法人高知市こども劇場副理事長
	文 芸	島 総一郎	高知ペンクラブ事務局長
	華 道	立 石 一 有	高知県華道協和会理事
	能 楽	葛 目 雄 幸	高知能楽会代表幹事
	市 展	瀨 田 尚 川	高知市展代表委員長
	まんが	山 北 美 砂 子	高知漫画集団事務局
	県立美術館	河 村 章 代	高知県立美術館主任学芸員
文化協会	森 田 悦 男	高知市文化協会代表理事	
報 道	RKC	竹 島 章 記	高知放送報道制作部長
	NHK	池 崎 敏 弘	NHK高知放送局放送部長
	高知新聞	浜 田 茂	高知新聞社学芸部長
	高知新聞企業	松 浦 英 明	高知新聞企業事業企画部長
	KUTV	岡 本 康 利	テレビ高知報道・技術センター次長
	さんさんテレビ	林 寛	高知さんさんテレビ報道制作局長

委員長 花柳 昌延

副委員長 高橋 輝雄 ・ 森田 悦男

監 査 上本 竹永 ・ 北村 絵理

第60回高知市文化祭開幕行事

武政英策生誕100年記念公演  
「歌ありてこそ」



日 時 平成20年4月13日(日) 開場12:00～ 開演12:30～  
 場 所 高知市文化プラザ 大ホール  
 入場料 前売・当日とも 1,000円  
 主 催 高知市文化祭執行委員会・高知市文化協会  
 主 管 (財)高知市文化振興事業団・高知市教育委員会  
 後 援 高知新聞社・NHK高知放送局・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSS高知さんさん  
 テレビ  
 出 演 高知県合唱連盟・高知県吟剣詩舞道総連盟・高知県民謡協会・高知コーラス合笑団、  
 高知コンサートグループ、高知マンドリン土曜日会、スガジャズダンススタジオ、  
 美穂川流陽和会、モダンダンス伊野友美子舞踊研究所、シエロクラブ、正調よさこ  
 い鳴子踊り普及振興会 他 総計 313人  
 入場者 700人

# 第60回 高知市展

開催日 平成20年5月24日(土)～6月8日(日)  
 会場 高知市文化プラザ 7階市民ギャラリー全室ほか  
 入場料 前売300円 当日400円 (50円の割引券と割引ハガキを発行)  
 鑑賞者 6,896名  
 美術体感イベント「あなたダビンチ ぼくピカソ」  
 6月1日(日)午後1時～4時 前広場+公民館施設  
 フリーパスポート500円 (5部門5ブース+2部門2ブース)



## 出品者・出品数・イベント

部 門	出品者 (前回)	出品数 (前回)	北見市 交流作品	美術体感イベント 参加ブース名	参加者数
絵 画	85 (86)	101 (105)	4 (4)	「カラフルマーケット」	1200
日本画	33 (31)	39 (37)	3 (3)		
書 道	164 (148)	164 (148)	10 (10)	「筆とあそぼう」	1000
先端美術	17 (15)	18 (16)			
彫 刻	24 (30)	29 (40)		「せっこう メダル」	570
陶 芸	56 (44)	81 (64)	3 (2)	「粘土で遊ぼう」	216
工 芸	36 (48)	61 (71)	(1)	「ガラスビーズの ワイヤーネックレス」	500
写 真	89 (73)	142 (118)	10 (10)		
ペン字	88 (108)	88 (108)		「字は楽しく書く のが一番」	300
デザイン	52 (7)	55 (7)		「キーホルダー作り」	600
合 計	644 (590)	778 (714)	30 (30)		4386

文化祭参加行事数・入場者数等集計表

部 門	行事数	入場者数	参加行事助成額	行事区分
映 像	6 (4)	955 (632)	130,000 (120,000)	共 催 4 後 援 1 名義後援 1
演 劇	9 (10)	5,563 (5,762)	386,300 (506,000)	共 催 5 名義共催 1 後 援 2 名義後援 1
音 楽	23 (23)	9,570 (9,320)	1,120,000 (1,106,000)	共 催 16 特別共催 1 後 援 4 名義後援 2
舞 踊	12 (11)	6,454 (8,501)	666,600 (661,000)	共 催 8 特別共催 1 名義共催 1 後 援 1 名義後援 1
展 示	4 (3)	8,255 (7,905)	321,000 (243,000)	共 催 4
文 芸	3 (3)	669 (713)	195,000 (194,000)	共 催 2 委 託 1
その他	4 (4)	754 (1,480)	179,800 (174,000)	共 催 2 後 援 2
合 計	61 (58)	32,220 (34,313)	2,998,700 (3,004,000)	共 催 41 特別共催 2 名義共催 2 後 援 10 名義後援 5 委 託 1

( )内は前回の実績数

「その他」部門への文化祭参加興行映画の入場者数は、この集計には含まれておりません。

## 映像部門

行事名	シネマな夜VOL.99「やわらかい生活」		
日・時	4月23日(水) 13:15～計4回		逆境で傷ついた人にとって、人との飾りのない関係性こそが癒しの源になることが描かれている作品だが、うつ病の主人公の身にふりかかる状況が結構深刻なので、癒しや和みを期待された方にとっては、当てが外れたかもしれない。しかし、監督・廣木隆一、脚本・荒井晴彦、主演・寺島しのぶのコンビネーションは健在で、正直で自由に生きる人物群像を魅力的に描き出していた。
会場	県立美術館ホール	入場者 196人	
主催	シネマ・サンライズ / 吉川修一		

行事名	「アレクセイと泉」上映と写真展		
日・時	4月25日(金) 14:00～計4回		広報活動や前売販売活動が出遅れましたが、当日は100人を大きく超える入場がありました。入場者の感想はおおむね好評であり、チェルノブイリ原発事故から22年目の企画行事としては、芸術的な香りの高い映画上映プラス写真展であったと、自画自賛しています。とても楽しい会でした。
会場	県立美術館ホール	入場者 160人	
主催	原発さよならネットワーク高知 / 外京ゆり		

行事名	名作映画上映会「わが道」		
日・時	5月11日(日) 16:10～計2回		シネマの食堂の一環という事で新聞でも大きく取り上げられ、会場に入り切れないほどの来場者であった。S40年代の青森県は限りなく貧乏で、出稼ぎが当たり前。都会で行き倒れた夫について、妻が国を相手に裁判で勝利する内容であり、高知県も人ごとではないと大変勉強になる作品だった。その後、青森県に原発施設が作られていった理由が分かる。新藤兼人の偉大さを再確認した。
会場	平和資料館草の家	入場者 90人	
主催	小夏の映画会 / 田辺浩三		

行事名	MOVIE JUNKY 第197回上映会「黄色い涙」		
日・時	5月13日(火) 13:30～計3回		この映画の原作である『漫画家残酷物語』では、妥協的な生き方をする漫画家は厳しい視線で描かれていたように思うが、この映画では、ユーモアで彩られ、あまり断片的には描かれていない。そこに甘さを感じるむきもあるかもしれないが、とても今風とは言い難い、しかもドリームがカムトゥルーするとは限らないという苦さを持つ原作を、あえて映画化するという作り手の姿勢は支持したい。
会場	県立美術館ホール	入場者 143人	
主催	MOVIE JUNKY / 西川泉		

行事名	こうちコミュニティシネマ第33回上映会「onceダブリンの街角で」		
日・時	5月21日(水) 13:20～計5回		アイルランドを舞台にしたストリートミュージシャンの物語ということで、映画ファンのみならず、音楽を愛する人達も大勢参加してくれました。楽器持参の方には割引を行ったり、アイルランド音楽を演奏するグループ、グレイグースがミニライブをしたりと、観客の人達が触れ合い心を交わせる場となり、とてもなごやかで楽しい上映会になりました。アンケートもたくさん集まり大変好評でした。
会場	県立美術館ホール	入場者 310人	
主催	NPOこうちコミュニティシネマ / 有光文平		

行事名	高知・民族文化映像研究所の映画をみる会21期上映会「血と肉と人間(狩猟文化)」「水と人間」		
日・時	6月22日(日) 13:30～17:00・23日(月) 9:30～12:10		水は人間の生命の泉であり、人間の多彩な生活と文化を生み出してきました。更に人間は動物の体と命をいただいで生きてきました。今回は、ヨーロッパのピレネー山脈、さらに北欧・北極圏の生活者を訪ね、地球の環境問題や食品汚染、そんな時代をどのように生きていくかを根本から見つめ直す手がかりを示唆する映画でした。上映後、来場者から感動と感謝の言葉をいただきました。
会場	22日/自由民権記念館民権ホール 23日/平和資料館草の家	入場者 56人	
主催	高知・民族文化映像研究所の映画をみる会 / 松吉恵子		

## 演劇部門(1)

行事名	第20回高知能楽会大会		
日・時	4月27日(日) 9:40～16:40		高知能楽会大会も今回で第20回となり、文化祭参加の一員として定着することが出来る様になりました。本大会の内容も結果もそれなりに評価できるものがありました。自己満足に陥ることなく、今後も当会の目的に掲げる能楽の昂揚と地域文化の発展のために、いよいよの努力を決意する次第です。
会場	県立美術館能楽堂	入場者 200人	
主催	高知能楽会 / 葛目雄幸		

行事名	喜多流回雪臺高知栗谷会能楽大会		
日・時	5月11日(日) 10:30～17:00		計画通りに素謡3番、舞囃子10番、能1番を発表、日頃の練習成果を発揮することができました。また、見所からもそれぞれに評価をいただくことができ感謝しております。これからも毎年能1番は発表できるように務めたいと考えております。
会場	県立美術館能楽堂	入場者 250人	
主催	喜多流回雪臺高知栗谷会 / 岡部徳治		

行事名	高知市こども劇場高学年例会CAN青芸公演「君がいるから」		
日・時	5月15日(木)・16日(金) 19:00～20:00		一途なラッキー、物知りの教授、マイペースなドンブリ。三匹三様の個性で、カラスの襲撃、コンクリートへの沈没、野犬の群れとの遭遇等、数々の困難をのりきる。表現の巧さと迫力で、ハラハラドキドキしながら舞台に見入っていました。立場のちがう三匹が、少しずつ分かり合いながら力を合わせていく様に、仲間がいるということは勇気がわいてくる、そんなテーマを感じる舞台でした。
会場	かるぽーと小ホール	入場者 293人	
主催	特定非営利活動法人高知市こども劇場 / 武市真寿美		

行事名	高知市民劇場第272回例会劇団文化座公演「天国までの百マイル」		
日・時	5月21日(水)18:30～ 22日(木)・24日(土)13:30～ 23日(金)18:45～		観劇者から「親が子を、また子が親を、そして理由もなく他人を傷つける殺伐とした時代にこんなにも優しい物語があることがうれしい」という感想が寄せられました。登場人物のそれぞれが優しく、思いやりがある作品を観ると、自分たちも周りに優しくしようという気持ちが生まれます。そして、一人で生きているのではないことを思い直します。観劇する意味のある作品を見ることができました。
会場	県民文化ホール(オ)	入場者 3,586人	
主催	高知市民劇場 / 塩田正興		

行事名	高知市こども劇場低学年例会劇団潮流公演「パウワウ」		
日・時	5月28日(水)・29日(木) 18:30～19:20		日本語が分からない外国犬ハリーと 忍者犬を名のる たくましい野良犬ゴロウ。出会いから、車に追いかけられたり川で溺れそうになったり、様々なハプニングを通して言葉の通じない二匹がお互いに向きあっていく姿がコミカルに描かれていました。言葉は分からないけど、何となく通じあえた時の心地よさ。人間として幸福感や安心感を感じる一瞬、そんな心の交流を感じたことでした。
会場	28日/ソール大会議室 29日/人権啓発センター	入場者 307人	
主催	特定非営利活動法人高知市こども劇場 / 武市真寿美		

行事名	演劇集団S.T.H.公演Act.14「新ハムレット」		
日・時	6月19日(木)・21日(土)・22日(日) 19:30～21:00		蔵という王宮イメージとは懸け離れた空間で、蔵の入り口の鉄扉を舞台側に取り込み、開閉の重々しい響きを聞かせることや、土壁も隠すことなく効果的に見せることで、蔵の特性を生かした空間作りができたように思う。昨年の竹林寺に引き続き、今まで演劇空間としては利用されてこなかった蛸蔵を利用したことで、高知の舞台芸術を発表する場が少しでも広がっていくと良いと思う。
会場	蛸蔵	入場者 263人	
主催	演劇集団S.T.H. / 岡村実記		

## 演劇部門(2)

行事名	ラボ・パーティ高知地区交流発表会		
日・時	6月22日(日) 13:30 ~ 16:30		0才から40代の成人までが集い、交流発表会・英語歌・英日劇をしました。発表の合間には、中高生が楽しくゲームや踊りなどで盛り上げてくれました。回を重ねるごとに小さい子への対応もスムーズとなっているのを感じます。国際交流壮行会では、中2の女の子が堂々と英語で決意表明をしました。参加型の交流発表会として、会場全体が楽しめました。
会場	かるぽーと11階大講義室	入場者 70人	
主催	高知ラボ・パーティ / 岩本真理		

行事名	劇団MAC第12弾公演「命を弄ぶ男ふたり」		
日・時	6月27日(金)・28日(土) 19:30 ~ 20:30 29日(日) 14:00 ~ 15:00		今回は83年前に岸田國士によって描かれた喜劇を上演。大正時代の「きちんとした美しい日本語」、レトロな音楽・衣装。情けなくも微笑ましい男たち。作品のクオリティとしても自信が持てたし、劇団としても今後、レパートリー作品にしていきたい。今後の課題は集客力。演劇というナマの表現はお客様に観ていただいて初めて作品になる。もっとアピールできるはずだし、しなければならぬ。
会場	蛸蔵	入場者 134人	
主催	劇団MAC / 藤岡武洋		

行事名	第11回高知県能楽鑑賞会能		
日・時	6月29日(日) 12:00 ~ 15:40		計画通りに、おはなし、能・経政、仕舞・邯鄲・野宮、狂言・川上、能・船弁慶を満席の状態で行うことができました。見所のマナーも良く、静寂の中に幽玄の世界を繰り広げました。観客の皆さんも満足し堪能した表情でお帰りいただいたものと自負しております。これからも2~3年毎に能会を開催する予定でありますので、御支援等よろしく願いいたします。
会場	県立美術館能楽堂	入場者 460人	
主催	高知県能楽鑑賞会 / 岡部徳治		

## 音楽部門(1)

行事名	<b>高知ポップス・オーケストラコンサート2008 Sound Gallery 音の美術館</b>		
日・時	4月13日(日) 14:00~16:00・18:30~20:30		今年も、多くの方々にご来場いただき、好評のうちに終えることができました。また、リピーターの方が増えてきていることを、大変嬉しく思います。私たちのやっている音楽は、年齢、性別そして音楽のジャンルをこえたものなので、反応も色々あり、自分達も大変勉強になります。来年は10周年を迎えます。今後も技術の研鑽を積み、これまで以上に飛躍をはかっていききたいと思います。
会場	県立美術館ホール	入場者 712人	
主催	高知ポップス・オーケストラ / 池上初枝		

行事名	<b>第5回高知公演「新しいピアノコンチェルトとの出会い」</b>		
日・時	4月14日(月) 18:00~21:00		満席の中で熱気あふれるコンサートであった。出演者は、オーケストラと共演するピアノコンチェルトの夢と感動を満席の聴衆と共に体験することができた。このことは県下の子供達、親、指導者すべての人々に新しい世界を觀、聴く機会を作り県民の文化水準向上に貢献した。今回、初めて指導者(4名)もソリストとしてステージに立ち多くの感動を与えた。
会場	県民文化ホール(オ)	入場者 1,500人	
主催	高知県ピアノ指導者協会 / 住友弘一		

行事名	<b>一絃琴わくら和遊紅会演奏会</b>		
日・時	4月20日(日) 13:30~15:30		今年4月は、故武政英策夫人の琴心さんの一周忌で、ご冥福を祈り英策氏の遺作曲を多数演奏しました。今回は、初めてご来場下さった方が多数おられ大変うれしく思いました。また、弓弾は全国でも他になく、わくら和遊紅会だけのものがございますので、わざわざ県外から聴きにこられ、是非手がけたいといわれ、少しでも普及できればと考えています。
会場	かるぽーと9階和室	入場者 52人	
主催	一絃琴わくら和遊紅会 / 松本遊紅		

行事名	<b>青峰流至誠吟詠会春季大会</b>		
日・時	4月27日(日) 12:30~16:00		年2回の大会のうち春季大会は、昨年秋季大会以来の練習の成果を発表する場です。初心者から指導者まで36名の会員が各教室から集い、親睦と交流をはかり会のスローガンである「無聲呼人・至誠一貫」の精神ののっとり今年の春季大会を終了しました。
会場	高知プリンスホテル	入場者 120人	
主催	青峰流至誠吟詠会 / 佐藤青絹		

行事名	<b>第43回スプリングコンサート</b>		
日・時	4月29日(火) 14:00~16:00		準備が遅れ、どうなることかと思いましたが、何とか無事終わることが出来ました。集客が不十分で例年より100名程度来客が少なかったため、もう少し広報活動にも力を入れて行きたいです。3部ステージ(クラシック、企画、ポップス)で多くのお客様に楽しんでいただけるステージになったと思います。
会場	県民文化ホール(オ)	入場者 826人	
主催	土佐中・高等学校吹奏楽部 / 川崎仁哉		

行事名	<b>第65回詩吟剣詩舞春季大会</b>		
日・時	5月11日(日) 9:00~16:00		加盟団体21団体が一堂に会し、吟詠および、剣詩舞の競演を行いました。昨年までは、RKCホールを利用していました。本年より春野ピアステージに変更しました。県下各地からの交通機関利用には不便となったものの、ホール環境は良好で盛会となりました。ただ会員の高齢化の進行が早いので、大会そのものの活性化を図るためには、若い世代への浸透が大切と考えています。
会場	春野文化ホールピアステージ	入場者 300人	
主催	高知県吟剣詩舞道総連盟 / 柳瀬岳領		

## 音楽部門(2)

行事名	三曲協会創立60周年記念「三曲演奏会」			
日・時	5月11日(日) 13:00~16:20		今年は、創立60周年という記念の年に当たり、例年以上に質の高い演奏会を目指しました。ゲストには、絃方に池上眞吾・松村エリナの両師、尺八に福田輝久師をお招きしました。全体の演奏曲数はゲスト曲3曲、協会堤曲2曲、協会会員堤曲7曲の計12曲で、古典曲2曲、新曲・現代曲10曲と記念演奏会にふさわしい曲構成で、来場者からも評価の声が多く寄せられ盛会でした。	
会場	かるぽーと大ホール	入場者		552人
主催	高知県三曲協会 / 澤田萬山			

行事名	正曲一弦琴白鷺会演奏会			
日・時	5月17日(土) 13:00~15:00		春、秋年2回の定期演奏会として定着し、お客様にも楽しみにしていただいています。男性と女性の幅のある声に印象的だったというお客様の評価もいただき、十三絃とのコラボレーションもよく、変化と感動のある伝統の調べの重みを感じていただいたと思います。県指定無形文化財保持団体としての責任を果たすべく、今後も技術力向上と多くの方に親しんでいただくよう努めます。	
会場	かるぽーと小ホール	入場者		100人
主催	正曲一弦琴白鷺会 / 松尾徹人			

行事名	秀鳳流春季吟詠練成大会			
日・時	5月18日(日) 9:00~17:00		第58回目となる秀鳳流吟詠練成大会・第33回優勝旗争奪春季競吟大会・本大会は好天に恵まれ無事終了しました。本年度は特別企画として、現代吟詠と舞の祭典とし県内の剣詩舞の先生方に舞っていただきました。参加会員の1年間の成長の過程と特別企画として「現代吟詠と舞の祭典」と題し、県下の舞の先生方と懇親を深めた有意義な会でした。	
会場	高知プリンスホテル	入場者		340人
主催	秀鳳流日本吟詠会 / 野中秀鳳			

行事名	桂民謡会チャリティー民謡民舞の祭典			
日・時	5月18日(日) 11:00~16:00		昨年、第20回の節目を迎え、新たな第一歩と考え、津軽三味線高知横川会の共催、また、日舞貴柳会民舞桂/貴仙会等の協力により無事終了いたしました。本年も恵まれない子供たちに義援金を贈らせていただきました。教室も増え、旭・いの・越知・塩田町・北街と会員も100名を超そうとしています。今後は、6月に本県で開催される四国大会での優勝に向かって頑張ります。	
会場	県民文化ホール(グ)	入場者		450人
主催	高知桂民謡会 / 竹内懸一			

行事名	やいろ吹奏楽団第13回定期演奏会			
日・時	5月31(土) 18:30~20:45		聞きなじみのある曲を多く用意したためか、非常に多くの方に喜んで頂けたようでした。ただ、やはり観客動員数が少ないため、今後は宣伝の在り方を考える必要があると思われます。より多くの方々に当楽団の演奏を聴きにきていただき、団員増加等の楽団発展につなげるとともに、市民の文化的意識を高めるための手助けができるよう今後も活動していきたいと考えています。	
会場	県民文化ホール(オ)	入場者		650人
主催	やいろ吹奏楽団 / 野町考司			

行事名	高知マンドリン土曜日会第39回定期演奏会			
日・時	6月7日(土) 18:30~21:00		ホール関係者をはじめ、四国各地のマンドリンクラブのメンバー、地元高知大学や高知女子大学、各団体の応援のおかげで無事開催することができました。マンドリン自体がマイナーな楽器のため愛好者が少ないですが、底辺拡大のため会員一同頑張っていきますので、今後ともよろしく願います。	
会場	県民文化ホール(オ)	入場者		512人
主催	高知マンドリン土曜日会 / 和田健			

## 音楽部門(3)

行事名	<b>第35回高知本條会ふるさと民謡民舞三味線発表会</b>		
日・時	6月8日(日) 12:00～16:30		高知本條会35回記念発表会を迎え、たくさんの皆様と出逢い高知の自慢の民謡や民舞を心ゆくまで楽しみました。これからも、仲間の皆様とお国自慢の唄や踊りの技術を持ち寄って、いつまでも元気で頑張っていきたいと思えます。
会場	弥右衛門ふれあいセンター	入場者 150人	
主催	高知県本條会民謡連合会 / 本條謡朋		

行事名	<b>邦楽器と洋楽器によるアンサンブルグループ「し～ずん」コンサート</b>		
日・時	6月10日(火) 19:00～20:45		日本でも屈指の十七絃の演奏家、宮越圭子氏をゲストに迎え「双樹」からプログラムが始まった。二十絃の渡辺治子、三絃の門田綾子に、フルートが入り四重奏。フルーティスト服部枝人、ピアニスト吉井美賀の名演奏にも拍手喝采。世界の民謡もゲストが加わりより幅広い音域で楽しんでいただけた。アンコールは、ピアノやフルートの伴奏で「千の風になって」をお客様と共に合唱した。
会場	県立美術館ホール	入場者 392人	
主催	グループ「し～ずん」 / 門田綾子		

行事名	<b>第5回混声合唱団Pange定期演奏会</b>		
日・時	6月14日(土) 18:30～20:30		第5回という節目で、練習・演出とも気合いが入った演奏会でした。できるだけお客さんの知ってる曲も入れ、楽しめるステージもありつつ、合唱らしい組曲やチャレンジ曲も入れた構成になるよう毎年工夫していますが、お客さんから、「今年は何をやるのか楽しみでした」といわれ、とても嬉しかったです。どうしても曲数が多くなるため、練習不足の曲をどうするかが、今後の課題だと考えます。
会場	県立美術館ホール	入場者 359人	
主催	混声合唱団Pange / 坂本雅代		

行事名	<b>第27回四国地区連合民謡民舞高知大会</b>		
日・時	6月15日(日) 10:00～17:00		昭和57年から始まった本大会も今回で27年になります。今回も四国四県から150名の愛好家が集まり、コンクール形式で自慢の民謡を披露しました。時間は全て2分、中にはタイムオーバーする人も出ましたが、それでも和気あいあいのうちに終了しました。
会場	県民文化ホール(グ)	入場者 250人	
主催	日本郷土民謡協会高知県支部 / 竹内懸一		

行事名	<b>「Tutti」第10回&amp;「音のみち」第7回ジョイントコンサート</b>		
日・時	6月20日(金) 19:00～21:00		演奏は、ソロから室内楽まで、古典から新作初演までといったように幅広い音楽を取り上げることができた。当日は、あいにくの雨ではあったが、多くの方々が来場してくれた。今回も高知市の文化的発展に微力ながら寄与できたと思う。今後、演奏のレベルアップ等、さらに一層の努力を重ね、よりよいコンサートを実現できるよう尽力していきたい。
会場	自由民権記念館アトリウム	入場者 80人	
主催	Tutti, 音のみち / 川添建太郎		

行事名	<b>大正琴アンサンブルあじさい会発表会</b>		
日・時	6月21日(土) 13:30～16:00		今回で15回となる発表会も無事終了致しました。15回大会ということでプログラムをカラーにし、賛助出演に踊りの藤間美津子・藤間紫公、ギター中谷健一、サクソ久保雅夫、唄清岡和茂さん達に応援をいただきました。本年も室戸・赤岡・高知の生徒さん達の一年間の練習の成果を発表することができました。
会場	県民文化ホール(グ)	入場者 368人	
主催	大正琴あじさい会 / 川島節子		

## 音楽部門(4)

<b>行事名</b>	<b>第49回高知県合唱祭</b>			
<b>日・時</b>	6月22日(日) 10:00～16:00			どの団体も演出、演奏曲に趣向をこらした、楽しい演奏会になりました。普段はあまり聞くことのできない他団体の演奏を聞き、今後の参考になったようです。
<b>会場</b>	かるぽーと大ホール	<b>入場者</b>	627人	
<b>主催</b>	高知県合唱連盟 / 谷村泰久			
<b>行事名</b>	<b>四国漢詩連盟高知大会</b>			
<b>日・時</b>	6月22日(日) 10:30～16:00			漢詩は日本古来の伝統文化で、先見古哲の心の迸りを詩にしたもので、今、日本文化の良さを再評価し礼節を大切にしようとするとき、日本の文化伝統芸術を守り育てることを目的とし、この大会を四国各県持ち回りで開催しています。今回は本県が担当し、課題詩を「川」とし、四国漢詩連盟会員が作った詩の朗読・吟詠等をおこないました。
<b>会場</b>	県民文化ホール(グ)	<b>入場者</b>	350人	
<b>主催</b>	高知県漢詩連盟 / 野中秀鳳			
<b>行事名</b>	<b>第9回郷土民謡土佐ふみの会発表会</b>			
<b>日・時</b>	6月22日(日) 12:30～16:00			本年も日本民謡の数々を、三味線、尺八、太鼓等、和楽器で演奏し、歌い、踊って楽しい一日になりました。本年度も、「森と緑の会」への微力ながらのカンパができました。高齢者の多い団体ですが、民謡を通じて会員一同頑張って生涯学習が出来ることが最高の喜びです。
<b>会場</b>	南部健康福祉センター	<b>入場者</b>	430人	
<b>主催</b>	土佐ふみの会 / 黒川二三子			
<b>行事名</b>	<b>和太鼓・志鼓倶活動10周年記念「第5回和太鼓・志鼓倶自然の響コンサート」</b>			
<b>日・時</b>	6月29日(日) 13:30～15:00			10周年の節目、例年より内容をスケールアップして臨みました。しかし、大雨の影響でメンバーが突然参加できなくなったり、直前の準備で怪我したりとアクシデントもありましたが、全員で力を合わせ順調に進みました。お客様から、感動の言葉と拍手喝采をいただき、嬉しく思います。またゲストの和太鼓一番風も若いエネルギーを存分に発揮、合同演奏でも息が合い心も一つになりました。
<b>会場</b>	牧野植物園内階段広場	<b>入場者</b>	250人	
<b>主催</b>	和太鼓・志鼓倶 / 井上博文			
<b>行事名</b>	<b>第17回高知県市民バンド連合演奏会</b>			
<b>日・時</b>	6月29日(日) 13:30～16:00			1部は加盟バンド5団体による個性的なステージ、2部は自由演奏会で、一般参加の学生・社会人が合同演奏に加わり、120名のプレイヤーで壮大な音楽を創造。また、音楽指導者として杉山淳氏を招聘し、今回のために編曲委嘱した「風花」を演奏。当演奏会の目的である市民バンド間の交流、音楽的向上、市民へのアピールなどが達成でき、楽しい演奏空間を共有できました。
<b>会場</b>	オレンジホール	<b>入場者</b>	200人	
<b>主催</b>	高知県市民バンド連合会 / 大野恭平			

## 舞踊部門(1)

行事名	水心流弘道館剣詩舞道大会			
日・時	4月5日(土) 13:00～20:00		本年度は、本大会を皮切りに13日は文化祭開幕行事、20日には剣詩舞道春季大会が美術館ホールでと立て続けの舞台でしたが、年末の水心流弘道館20周年に向けての予行もかねて、会員一同頑張りました。会員の高齢化に伴い病気等で欠席する会員も増えてきましたが、健康増進と仲間意識に支えられ、一步一步前進していきます。	
会場	自由民権記念館	入場者		120人
主催	水心流剣詩舞道弘道館 / 柿本霊容			

行事名	モダンダンス伊野友美子と小倉卓浩のコラボレーション「心が望み 響き踊る」			
日・時	4月6日(日) 16:30～17:30・19:00～20:00		ジャズダンスとモダンダンスの違いを大きく感じたのは、呼吸の使い方。そこにジャンルの違いや作品を創る過程の違いがあり、自分の作品を客観的に観、確認することができる大きな収穫となった。客層も今まで触れることのできない層にも観ていただけ、大きな喜びである。	
会場	高知城ホール	入場者		147人
主催	モダンダンス伊野友美子舞踊研究所 / 伊野友美子			

行事名	ふじ和会舞踊発表会			
日・時	4月13日(日) 12:00～16:00		本格的な所作を敷き、会場は立ち見までで盛況さに門下生も喜び、普段見せない笑顔でお客様も会員も大満足でした。遠方より来てくださったお客様で駐車場は満杯、開館以来の出来事だと、係りの方にも喜んでいただきました。また、夏の浴衣さらえに向かって頑張っています。	
会場	三里文化会館	入場者		500人
主催	ふじ和会 / 竹村美和			

行事名	第27回坂東流はなぶさ会			
日・時	4月29日(火) 12:30～16:00		「はなぶさ会」を始めて27回目の舞踊会、当初はヨチヨチ歩きの会でしたが、近年になって御ひいきのお客様も増え、わざわざ電話を下さる一般の方も増えました。今年はNHKの取材もあり、延べ300名以上のお客様に堪能していただきました。高齢化といわれる昨今ですが、20歳代から70歳代までの門下生が頑張っています。	
会場	県民文化ホール(グ)	入場者		313人
主催	坂東流はなぶさ会 / 坂東英			

行事名	歌踊・民踊舞踊の舞緒香会			
日・時	5月10日(土) 11:00～16:30		私達は年に一度のこの会を目標に頑張っております。当日は、家族の方々も大勢みえ、元気で若々しく輝いている姿に涙するなど喜ぶ姿も見られました。この会も長くなり、観覧者の賞賛を受ける者もできました。私共の活動が芸術文化の向上と、高齢者の生きがいや健康増進に役立ったとすれば大変幸せに思います。今後も、よい発表ができるように努力していきます。	
会場	県民文化ホール(グ)	入場者		490人
主催	藤間流舞緒香会 / 小野兎喜子			

行事名	第36回内山時江ダンスシアター「ア・ナ・タNO.3」-恋愛感情を表現する二個のパン-			
日・時	5月17日(土) 18:00～19:15 18日(日) 16:00～17:15		スタジオという狭い空間の中で現代舞踊を発表し続けて36回。毎年来て下さる方はもちろん、初めて観に来られた方も多く、感謝の気持ちでいっぱいです。今回の作品はテンポ良く仕上がったせいか、楽しんでご覧になった方が多かったように思いました。2日間続けて観に来て下さった方がいたのも大変嬉しかったです。	
会場	内山時江モダンバレエ研究所	入場者		87人
主催	内山時江モダンバレエ研究所 / 内山時江			

## 舞踊部門(2)

行事名	第53回白鷺おどり		
日・時	5月18日(日) 11:00～16:30		
会場	県民文化ホール(オ)	入場者	1,000人
主催	高知県日本舞踊協会 / 花柳昌延		

本年度の白鷺おどり日舞コンクールは中央より舞踊評論家の杉昌郎氏を迎えた。審査の結果、市長賞に坂東藍乃、白鷺会賞に坂東市弥、高新賞に若柳由喜千代が決定。若い舞踊家の成長を見ることが出来た。また、高新大賞受賞記念公演としての「土佐風流」は上演毎に観客を魅了し感動が広がる。これは、当会の作品としてだけでなく高知県の誇れる宝としての存在を示した。

行事名	浜田悦子バレエ研究所第36回発表会		
日・時	5月18日(日) 13:30～16:00		
会場	かるぼーと大ホール	入場者	750人
主催	浜田悦子バレエ研究所 / 浜田悦子		

第一部は「ドンキホーテ」夢の場からの幕開けで、第二部は創作バレエ「青い鳥」。子供の頃を思いおこす楽しい作品で、子供たちが精いっぱい踊りました。第三部「白鳥の湖」は、賑やかな宮殿の大広間で各国の踊りが続き、最後は一気に場面転換して華やかなフィナーレへ、大忙しの舞台でしたがお客様には楽しんで頂けたと思います。

行事名	第4回かなるスタジオカーニバル		
日・時	6月7日(土) 19:00～20:45		
会場	県立美術館ホール	入場者	355人
主催	かなるスタジオ / 瀬川佳津江		

毎年観客の方々から「色々種目があって楽しく、時間があっという間に過ぎてしまう」と喜んでいただいています。今年は特にそういう声が多く、子供達の実技がとても伸びているとの評価もいただきました。出演した子供達からも「また参加したい」と、笑顔いっぱいの舞台でした。多くの方のご協力をいただき来年は5周年、これまでの経験を生かし、さらに充実した舞台となるよう頑張ります。

行事名	第53回立脇バレエ発表会		
日・時	6月14日(土)18:00～21:00 15日(日)13:00～17:00		
会場	県民文化ホール(オ)	入場者	2,300人
主催	立脇千賀子バレエ研究所 / 立脇千賀子		

今回の公演も2日間満席の観客に見守られ、研究生は伸び伸びと日頃の成果を発揮出来たと思います。この幸せな気分がずっと続くことを願いながら私は見ていましたが、やはり反省も数えきれない位あります。これから益々心をひきしめて、研究生と共に高知でのバレエの底辺を広げて行きたい。クラシックバレエは素晴らしい芸術です。

行事名	モダンダンス伊野友美子舞踊公演「花嵐」		
日・時	6月28日(土) 18:00～20:00		
会場	県立美術館ホール	入場者	260人
主催	モダンダンス伊野友美子舞踊研究所 / 伊野友美子		

今回の公演に、ジャンルの異なるダンサーに、モダンダンスを踊って頂いたことに、可能性として、根底に共通・共有する物があり、これからもいろんな事にトライし、客観的にモダンダンスを見つめたいと思う。今年の作品は、全体的に呼吸の溜めが少ない作品が多く、観客に受け入れられやすい舞台になったと思う。

行事名	高知社交ダンス愛好会演技発表会		
日・時	6月29日(日) 13:00～16:00		
会場	旭文化センター	入場者	132人
主催	高知社交ダンス愛好会 / 尾崎比佐子		

本年は、今まで以上にデモ出演者が多く、下は6才から上は86才の高齢者まで元気いっぱいの発表会であった。特に、高齢者の方は、ダンスを踊ることで残りの人生に目標ができた、生きる張合いができた等、それぞれの方々が喜びを語っていた。技術的にはもっと向上させなければならないが、今回は参加者と出演者が一体となれた発表会であった。

## 展示部門

行事名	第7回映光会書作展～近代の詞～		
日・時	4月4日(金)～7日(月) 9:30～18:00 (最終日は16時)		今回は、題材を明治・大正の時代から選び、文明開化・大正ロマンの雰囲気を出したいと思いましたが、それぞれの時代性が強いので表現が難しかったように思います。けれどもご来場の皆様には、なじみの詞が多かった分、口ずさむ方もおられ、親しみ懐かしみを感じていただき、喜んでいただいたように思います。これからも、創造活動を続け高知の文化に寄与していきたいと思いをします。
会場	高新画廊	入場者 485人	
主催	書道研究映光会 / 三浦映泉		

行事名	春のいけばな展		
日・時	4月18日(金)～20日(日) 10:00～18:00 (最終日は16時)		瑞々しい生命力溢れる木々の芽吹きに、形や色を異にする花々が彩りを添えて、参加23流派が伝統の心に現代感覚を加味した力作、大作等に加え、花を生ける楽しささえ滲ませた子供席の可憐な作品。それぞれの趣が来館者の目を楽しませ、寛ぎの一刻を満喫して頂けたと思う。花を愛する者として、一人一人が慢心することなく誇りを持ち、日々新たに『はな』と向き合っていきたい。
会場	かるぼーと7階第1・2展示室	入場者 3,637人	
主催	高知県華道協和会 / 岩井寿夫		

行事名	春のばら展2008		
日・時	5月9日(金)～11日(日) 10:00～18:00 (最終日は16時)		今年初めてかるぼーと7階第5展示室で開催し、入場者減少を心配したが、1,633人の入場で活気の満ちたばら展となった。ばら展の人氣が定着してきていると思われる。一方、展示スペースが狭く、困ったが、空調がよく効いており、花もちはやかった。今後も文化プラザでの開催を計画し、来場者数、新入会員も増やしていきたい。
会場	かるぼーと7階第5展示室	入場者 1,633人	
主催	高知ばら会 / 森岡清		

行事名	第32回さつき花季展覧会		
日・時	5月22日(木)～25日(日) 9:00～18:00 (最終日は16時)		本年は、牧野富太郎記念館の花絵巻行事の中に組み込まれ会員も例年以上にレベルの高い作品を出展したいと頑張りました。その努力の結果、選考に当たられた5名の審査員の方々も今年の出来栄を誉めて下さいました。会場には連日大勢の見学者が入場され花の美しさ、盆栽の立派さに感動されていました。これからも、会員心を一つにして盆栽の樹格向上に励んでまいります。
会場	県立牧野植物園	入場者 2,500人	
主催	高知県さつき愛好会 / 斎藤俊和		

## 文芸部門

行事名	第38回総合文芸展		
日・時	4月15日(火)～20日(日) 10:00～17:00		会場の壁面には、当会員の作品を中心に、一般参加の作品も加わり、短歌、俳句、詩、川柳、紙芝居の絵、まんがの作品約60点が趣向をこらして展示された。さらに陳列ケースには、会員の著書、同人誌、各受賞図書等も展示され、鑑賞者の目を引いていた。今展は、内容が充実し、鑑賞者も400人を超え、成功であった。今後は、広くPRを行い、さらなる文芸の発展を目指したい。
会場	かるぼーと第5展示室	入場者 418人	
主催	高知ペンクラブ / 高橋正		

行事名	第37回高知県俳句大会		
日・時	5月25日(日) 9:00～17:00		今年の参加者は146人で特に西部の参加者が少なかった。年々会員が減少傾向であるため、事前投句の推進を図った。その事前投句が1,405句あり、優秀作品が多かった。今後は、会員増加のためにも、若者の俳句に対する啓蒙と普及に努め、最近郡部でも盛んになりつつある俳句会にも、今後の発展を期待する。本年度は「俳句連盟のしおり」を作り、全県下に配布予定である。
会場	高新文化ホール	入場者 146人	
主催	高知県俳句連盟 / 橋田憲明		

行事名	平成20年度帆傘川柳大会		
日・時	6月22日(日) 10:00～17:30		出席者は例年を上回り盛会であった。県外からの参加や、新しい選者の抜きもあり、今までより活気があった。また、今年は、例年に比べ家族的な雰囲気での運営ができて良かった。高知県川柳界の指導者が相ついで亡くなる厳しい状態の中での大会であったが、これからは希望のもてるいい会になった。
会場	文教会館5階ホール	入場者 95人	
主催	帆傘川柳社 / 小笠原望		

## その他部門

行事名	<b>香を楽しむ</b>		
日・時	4月20日(日) 10:00～12:00・13:00～15:00		今年は源氏千年紀ということで源氏物語にちなみ源氏香を行った。のどかな春の日、早くから来席いただき、ゆったりとした空気の中で香席を楽しんで頂いた。源氏香の図の成りたちが分かったとか、改めて源氏物語を読んでみようという感想があった。香りの空間のもたらした良さを感じて頂きよかったと思う。今後も伝統文化である香道を体験して頂くために会員一同努力していきたい。
会場	寺田寅彦記念館	入場者 61人	
主催	香道古心流土佐伽羅の会 / 藤本淑峰		

行事名	<b>第34回高知市教育長杯かるた大会</b>		
日・時	6月22日(日) 9:30～15:00		参加人数は昨年より少し多かったが、小学校の部で指導教諭の異動により生徒の参加がなくなった学校があります。かるた会に参加する児童生徒数を増やすためには、指導者の養成が必須課題であり、今後も、練習会や読手講習会を行って競技かるたの普及に努めます。
会場	かるぽーと9階和室	入場者 35人	
主催	高知かるた会 / 吉本健二		

行事名	<b>第12回三里友の会文化祭</b>		
日・時	5月25日～6月29日 全5行事		全ての催しが片寄りもなくほぼ満足のいく集客でした。ただ、催しを後ろで支えてくれている三里裏方会(照明・音響・舞台)の方が高齢となり、リハーサル等に穴があいてしまい、来年度の開催に支障をきたしてしまうかもしれないという問題が出てきました。加えて、友の会加盟団体が減り、それに伴う財政難も来年の課題です。
会場	三里文化会館	入場者 658人	
主催	三里文化推進友の会 / 坂本美代子		

行事名	<b>参加興行映画</b>		
日・時	4月26日～6月30日 全4作品		文化祭に相応しい作品として、日本映画の、「あの空をおぼえてる」(4/26～)、「隠し砦の三悪人」(5/10～)、「山のあなた～徳市の恋～」(5/24～)、外国映画からは、「チャーリー・ウィルソンズ・ウォー」(5/17～)の計4本を参加作品とした。
会場	TOHOシネマズ高知	入場者 7,082人	
主催	高知県興行生活衛生同業組合 / 友永雄一		